

第12回化粧品産業技術展



# 国内外405社が集結



発行所 週刊粧業®  
東京都文京区小日向4-5-10  
(小日向サニーハイツ501号室)〒112-0006  
電話 (03)3836-2601  
FAX (03)3836-2602  
週刊粧業ホームページアドレス  
https://www.syogyo.jp  
E-メールアドレス  
letter@syogyo.jp  
©週刊粧業 2025

## 日本の技術力を世界へ Jビュートエイの魅力を発信

日本化粧品原料協会連合会が主催する化粧品産業技術展「CITE JAPAN 2025」が5月14日～16日の3日間、パシフィコ横浜で開催される。2003年から2年に1度開催されており、今回で第12回を迎える。出展者数は国内外405企業・1273小間(うち海外12カ国・73社117小間)、出展者技術発表209セッションを予定している(25年4月25日現在)。日本化粧品原料協会連合会の岩瀬由典会長は、「化粧品業界内で互いに高め合いながら『ジャパビュートエイ』を世界に発信し、業界全体の成長につながる展示会にしたい」と意気込みを語った。

### 各ブースで多言語対応が進み 国際色豊かな展示会へ発展

12回目の開催となる今年、パシフィコ横浜の「New Trend」展示ホール、アネックスのもと、サプライヤーをホール、ノースホールを中心とする出展企業と化粧品メーカーなどのユーザー企業の出会いの場を提供する。岩瀬会長は、「前回は、化粧品原料協会連合会は、コロナが5類に移行した直後で完全に



日本化粧品原料協会連合会 会長  
岩瀬 由典 氏

収束したとはいえない状況下での開催となった。今回は、コロナへの不安は以前ほど感じられなくなってきた一方で、為替変動や関税、地政学的リスクなど、別の課題に直面している。化粧品業界もこれらの影響を少なからず受けており、新たな時代の転換点にあると感じている。化粧品業界は、日本が世界に誇れる産業の一つであり、業界内で互いに刺激を与え合い、高め合いながら『ジャパビュートエイ』を世界へと発信していきたい」と話す。

出展者数や来場者数は年々増加傾向にあり、展示会の規模は拡大を続けている。特に海外からの出展が増え、技術発表では英語での発表が増加しているほか、各ブースでも英語に加え、中国語や韓国語といった多言語対応が進み、国際色豊かな展示会へと発展している。また、市場全体として環境対応が重要なトレンドとして広がりをみせており、本展示会でもアップサイクル原料を進む中でも、化粧品業界は、

「IFSCCでは、日本が累計で最も多くのメダルを獲得しており、日本の技術力の高さは世界的にも評価されている。このような優れた技術を、海外の来場者や学生、新たに業界に足を踏み入れた方々にも知ってもらいたいと考えている。また、海外コスメの進出が進む中で、他国の企業からも学び、日本の化粧品産業のさらなる成長のきっかけになればと思う」(岩瀬会長)

### 事前に知識を深めてもらう一環として 来場登録後のアワード投票を可能に

展示会では、前回に引き続き「CITE JAPAN 2025 アワード」を開催する。会場内で展示される製品や技術、サービスのうちから、化粧品業界への貢献度、革新性、インパクトの観点で特に優れたものを選出し表彰を行う。アワードは「環境部門」と「技術部門」の2部門を設け、現在、それぞれの部門から5製品がノミネートされている。この中から、金賞1、銀賞1、

はじめ、環境に配慮した製品や技術が多数発表される予定だ。展示会には化粧品業界に興味を持つ学生も訪れ、業界の動向を学ぶ機会となっている。岩瀬会長は、「少子化が、製品の多様性を促進する。例年同様、パシフィコ横浜での開催となるが、出展者や来場者の増加に伴い、会場内の密度は高くなる見込みだ。そのため、くつろぎやすいスペースの設置なども予定している。



愛されて、ロングセラー。  
ALBION

に興味を持つ学生の来場が増えている。展示会を通じて学生の関心が広がり、知識を深めていくことができ、嬉しい限りだ」と話す。



(禁無断転載) ©R  
 本紙の全部または一部を無断で複写複製(コピー)することは、堅く禁じられております。  
 本紙からの複写を希望される場合は、出版者著作権管理機構(JCOPY)(03-3513-6969)まで必ずご連絡下さい。

**CITE JAPAN 2025 特集 (23社) 3 ~ 20**

TOA / トキワ .....	3	日光ケミカルズ .....	15
日本色材工業研究所 .....	4	アンチエイジング .....	16
MycoMagic .....	5	マツモト交商 .....	16
ホシケミカルズ .....	6	香栄興業 .....	17
東洋ビューティ .....	7	阪本薬品工業 .....	17
アンスコーポレーション .....	8	成和化成 .....	18
NISSHA .....	9	三菱商事ライフサイエンス .....	18
ケイズ .....	10	アイ・ティー・オー .....	19
池田物産 .....	11	MP五協フード&ケミカル .....	19
フェイスラボ .....	14	丸善製薬 .....	20
ホルス .....	14	三葵コーポレーション .....	20
東色ピグメント .....	15		

**化粧品原料特集 (19社) 22 ~ 27**

岩瀬コスファ .....	22	日本精化 .....	25
一丸ファルコス .....	22	高級アルコール工業 .....	25
進栄化学 .....	22	壽商会 .....	25
J T S .....	23	木村産業 .....	26
高研 .....	23	太陽化学 .....	26
山川貿易 .....	23	寿ケミカル .....	26
物産フードサイエンス .....	24	味の素 .....	27
G S I クレオス .....	24	DOC Japan .....	27
カネダ .....	24	ダイセル .....	27
シバハシケミファ .....	24		

# 共同出展でグループ連携強化 研究開発の相互補完を促進

日本コルマーホールディングスで化粧品OEM/ODM事業を展開するTOA(トア)とトキワは、グループ連携強化の一環として「CITE JAPAN 2025」に共同出展する。ブリスは2社の理念に共通する「美」と「喜び」から「Beauty & Joy」とし、両社あわせて100品目以上の開発製品を展示する。共同出展ブリスではそれぞれ海外展示会(Makeup in NY/LA)のアワード受賞製品(写真参照)も展示し、グローバルOEM/ODMグループとして存在感を高めていく。研究開発に関しては「それぞれ強みが異なる一方、共通の課題や悩みも多く意見交換を行う中で気づきもある」と、相互補完を強化してグループとしての魅力も発信していく。

## 「T.O.A」を体感する34品目

TOAは、社名のアルファベット3文字に因んだキヤッチフレーズ「たのしい(T)」「おもしろい(O)」「あたらしい(A)」をテーマに開発製品34品目の展示を行う。また、技術発表も3題実施する。



Touch-up Powder Cream



Refillable Twisted Sculpt Brow

「たのしい(T)」では、ポイントメイク、ベースなど「見た目から楽しめる」の一体開発で、インベーション・サステナビリティをテーマにした「キワクオリティのメイクアイテム約70品目を展示し、来場者には若手が考案したノベルティも用意している。容器のサステナブルな設計が特徴で、「インクルーシブデザイン」の視点から、手が不自由な方々の使用感評価も得て開発した(同社)。

「おもしろい(O)」は、赤と白のマーブル状の粘膜色リップ「Marble Glossy Rouge」と大粒ラメをたくさん入れたアイシャドウ「Gel Glitter Eye Shadow」など「見た目から楽しめる」の一体開発で、インベーション・サステナビリティをテーマにした「キワクオリティのメイクアイテム約70品目を展示し、来場者には若手が考案したノベルティも用意している。容器のサステナブルな設計が特徴で、「インクルーシブデザイン」の視点から、手が不自由な方々の使用感評価も得て開発した(同社)。

## 持続可能性や革新性を追求した モノづくりで提案商材に厚み

トキワは、処方と容器の一体開発で、インベーション・サステナビリティをテーマにした「キワクオリティのメイクアイテム約70品目を展示し、来場者には若手が考案したノベルティも用意している。容器のサステナブルな設計が特徴で、「インクルーシブデザイン」の視点から、手が不自由な方々の使用感評価も得て開発した(同社)。

「あたらしい(A)」は、高保湿乳液「Milk to Balm Emulsion」を初展示する。サラッとした使用感の乳液を顔に塗り広げていくと、バームのようにピタッと密着して濃厚な保湿感が得られる。濃厚な使用感に変化する新感覚乳液として紹介する。

有用性評価部からは、独自開発素材「メアカンキンバイエキス」を配合したクリーンビューティ美容液「REMEA(リメア) Essence」(商標登録済)を展示する。メアカンキンバイ(雌阿寒金梅)は、北海道固有の絶滅危惧種で、メアカンキンバイの幹細胞を培養して開発したSDGs対応の植物幹細胞エキス。肌のバリア機能改善効果などを見出している。「あたらしい(A)」では、ヘアケア、乳化メーク、医薬部外品のカテゴリーから11品目を紹介する。

水の代わりにヒアルロン酸水溶液を使用した「Hyaluronic Acid Serum Foundation」(乳乳化メーク)や、ヘパリン類似物質を配合したボンブタイプの泡状美容液「Heparin Care Essence」(医薬部外品)などを展示する。界面活性剤フリー処方でも敏感肌や乾燥肌、子どもにも安心して楽しく使える設計にした。

容器は「伝統技術の継承・認知向上に少しでも寄与できればと考えている」(同社)と、開発ストーリーも合わせて紹介していく。

容器インベーションでは、外出先で手軽にリップを塗り直せる「キヤップレスリップ」を展示する。機構部をすべて内部に設計したスタイリッシュな外観が特徴で、「インクルーシブデザイン」の視点から、手が不自由な方々の使用感評価も得て開発した(同社)。

「メアカンキンバイ」は、北海道固有の絶滅危惧種で、メアカンキンバイの幹細胞を培養して開発したSDGs対応の植物幹細胞エキス。肌のバリア機能改善効果などを見出している。「あたらしい(A)」では、ヘアケア、乳化メーク、医薬部外品のカテゴリーから11品目を紹介する。

水の代わりにヒアルロン酸水溶液を使用した「Hyaluronic Acid Serum Foundation」(乳乳化メーク)や、ヘパリン類似物質を配合したボンブタイプの泡状美容液「Heparin Care Essence」(医薬部外品)などを展示する。界面活性剤フリー処方でも敏感肌や乾燥肌、子どもにも安心して楽しく使える設計にした。

容器は「伝統技術の継承・認知向上に少しでも寄与できればと考えている」(同社)と、開発ストーリーも合わせて紹介していく。

容器インベーションでは、外出先で手軽にリップを塗り直せる「キヤップレスリップ」を展示する。機構部をすべて内部に設計したスタイリッシュな外観が特徴で、「インクルーシブデザイン」の視点から、手が不自由な方々の使用感評価も得て開発した(同社)。

「メアカンキンバイ」は、北海道固有の絶滅危惧種で、メアカンキンバイの幹細胞を培養して開発したSDGs対応の植物幹細胞エキス。肌のバリア機能改善効果などを見出している。「あたらしい(A)」では、ヘアケア、乳化メーク、医薬部外品のカテゴリーから11品目を紹介する。

水の代わりにヒアルロン酸水溶液を使用した「Hyaluronic Acid Serum Foundation」(乳乳化メーク)や、ヘパリン類似物質を配合したボンブタイプの泡状美容液「Heparin Care Essence」(医薬部外品)などを展示する。界面活性剤フリー処方でも敏感肌や乾燥肌、子どもにも安心して楽しく使える設計にした。

容器は「伝統技術の継承・認知向上に少しでも寄与できればと考えている」(同社)と、開発ストーリーも合わせて紹介していく。

容器インベーションでは、外出先で手軽にリップを塗り直せる「キヤップレスリップ」を展示する。機構部をすべて内部に設計したスタイリッシュな外観が特徴で、「インクルーシブデザイン」の視点から、手が不自由な方々の使用感評価も得て開発した(同社)。

# CITE JAPAN 2025 特集

海外アワード受賞製品も展示(上)TOA、下)トキワ

海外アワード受賞製品も展示(上)TOA、下)トキワ

海外アワード受賞製品も展示(上)TOA、下)トキワ

日本色材工業研究所

ブースNo.B2-26

「最新技術が集まった科学館」をテーマに進化した技術をアピール

化粧品受託製造大手で、スキンケアからメイクアップまで幅広く製品開発を手がける日本色材工業研究所は、4小間を構える今展示会のテーマとして「最新技術が集まった科学館」を掲げ、乳化UV(サンスクリーンやファンデーション)・パウダー・アイメイク・スキンケア・油性固形の5つの剤型を中心とした展示を行う。出展ブースの主な見どころについて、取締役営業本部長の中嶋伸之氏と、研究開発本部グループマネージャーの嶋津智子氏に話を伺った。

乳化UVなど5つの剤型を  
中心とした展示に注目

——今回の主な見どころをお聞かせください。  
中嶋 研究員は普段、お客様と接する機会が少ない。そこで、今展示会では進化した当社の技術を実際に体験してもらいコメントをいただくことで、研究員のモチベーションへとつなげていくことを目的に、新たなチャレンジとして研究部門が主体となって、研究の視点で展示内容の選定から

「スモースフィットUVジェル」は当社独自の乳化方法により、みずみずしい使用感とSPF/PA最高値を両立したアイテムで、ビーチフレンドリーやマイクロプラスチックフリー、環状シリコンフリーなど海外の規制やトレンドも意識している。

「フライトニングプライマーS」は、スキンケアとメイクアップを融合させたスキニフィケーション処方を採用し、スキンケア効果を付与したメ

「パウダーアイテムは、ラネキサム酸とグリチルリチン酸ジカリウムを主剤として配合した医薬部外品として紹介している。

「パウダーアイテムは、50+/PA+++/耐水性★」を実現し、クッション容器での提供も可能にした。

「パウダーアイテムは、求められるポリウム感と化粧持ちを合わせ持つアイテムとして新たに開発し、RSPO認証原料の使用やvegan対応など、海外の規制やトレンドも意識した。今展示会では、その場で評価



嶋津氏



中嶋氏

新しい「乳化UV」のラインナップを紹介



ブースイメージ  
認められた化粧品導入乳液「モイスチャープレミルック」(同)など、感触や機能に特長のあるアイテムを紹介する。油性アイ

いたことが難しいマスカラアイテムの良さを濡れたようなツヤ感を演出できるマルチスティック外部モニターテストや有用性データを取得し、展示に反映している。

「パウダーアイテムは、従来のクリームや油性固形バームでは感じられない感触の変化を楽しむユニークなアイテムの「グロウスブラッシュクファンデーション」と「グロウスブラッシュクファンデーション」と「グロウスブラッシュクファンデーション」といった、使用感や仕上がりが異なるアイテムを展示する。

処方開発だけでなく、容器のサステナブル化も積極的推進

——今展示会ではこのほか、どのような点をアピールしていきますか。  
嶋津 当社では、環境配慮の取り組みとして処方開発だけでなくごまら

「サステナブル化も積極的推進」  
計を行ってきた。

「サステナブル化も積極的推進」  
計を行ってきた。

MYCOMAGIC

ブリスNo.D77-02

# 霊芝研究のバイオニア、酵母菌由来の霊芝エクソソーム原料を開発

MYCOMAGIC(マイコマジック、本社台湾、江美麗(コウ・ビレイ)社長)は、漢方素材で知られる霊芝の有効成分を内包した酵母菌由来バイオエクソソーム「霊芝外泌体 eExo-GMI」の販売を開始した。「CITE JAPAN 2025」では、エクソソーム化粧品の新規原料として特徴を紹介していく。同社は「有効性と安全性の高い霊芝エクソソーム原料を量産化できる生産体制が整い、高品質なエクソソームをリーズナブルな価格で提供していく」と述べ、「霊芝や酵母発酵技術を用いたオリジナル原料の共同開発やOEMにも対応していきたい」と語る。

## 台湾の研究者集団が開発した 特許原料、ヴィーガンにも対応

霊芝×酵母菌由来バイオエクソソーム原料「霊芝外泌体 eExo-GMI」は、台湾を拠点とするバイオテクノロジーメーカー・MYCOMAGIC Biotech(以下、Mycology社)と、Mycomagic社が開発した。日本や台湾、中国、米国、EUで製造方法の特許を取得している。



江美麗社長

江美麗社長は、40年以上前から台湾で霊芝の研究に没頭している。分「小胞子霊芝免疫調節剤 eExo-GMI」は、

## 安全性を担保して日本先行発売 原料開発の研究パートナーも募集

今回、霊芝と酵母菌由来エクソソーム原料を、品質基準に厳しい日本で先行販売し、Mycomagic社との研究開発・技術開発力も一緒にアピールしていく考えだ。許教授は、化粧品原料として優れた有効性が確認されたことで、「高い安全性を実現するため、時間をかけて慎重に試験を進めてきた」と述べ、「安全性に配慮されるお客様にも、安心して使用いただける品質を提供したい」



特殊な発酵技術で製法特許を取得

ない(許教授)として、世界初、唯一無二の原料として紹介していく。

タンパク質」を酵母菌由来エクソソームに内包することに成功した。エクソソームによるナノサイズ粒子の均一分散メカニズムにより、肌に届いた部位で最大限に効果を発揮する仕組みを持つ。食品グレードの酵母菌を用いたヴィーガンエクソソームは「当社の調べで、霊芝を内包したエクソソーム原料は他に例が確認されていない」。

エネルギーで、すでに規格化された量産化ができていく」と述べ、生産技術により、通常のエクソソーム原料と比べて、リーズナブルな価格での提供が可能だという。エクソソームの市場競争が激しくなる中、「コスパの良いエクソソーム」としてもアピールしていく。許教授は「会社設立20周年の集大成として、日本の化粧品産業を支える企業が一堂に集まる『CITE JAPAN』で開発した霊芝エクソソームを通じて、医薬品から化粧品、健康食品分野で研究を行うバイオテクノロジー会社としても取り組んでみたい」



「霊芝」に関して40年以上の研究実績

社では、設立当初から霊芝の研究に取り組んでおり、約20年前に台湾に生息する霊芝に含まれる新種のタンパク質を発見し、化粧品原料への応用研究を進めた。新種のタンパク質を発見した許瑞祥(キョ・ズイシヨ

CITE JAPAN 2025 特集

# C-ITE JAPAN 2025 特集

## ホシケミカルズ

ブースNo.D 20-02

### 美容業界の「今」を体現した最新のOEM/ODM処方を紹介

ホシケミカルズ(本社：東京都千代田区、星野拓社長)は、美容業界の「今」を体現したOEM/ODM処方として、女性に寄り添ったこだわり処方設計の「フェムケアシリーズ」と、化粧品下地不要の「日本製クッションファンデーション」を今展示会で紹介するほか、原料商社として国内で独占販売している「カナダ産エッセンシャルオイル」もアピールする。

#### 安全性を重視し女性に寄り添った「フェムケアシリーズ」を提案

フェムケアシリーズで「イブライン」の2ラインは、抗菌成分のイソプロピルメチルフェノールを配合し、ムレや臭いなどデリケートな悩みの原因に働きかける「デオドラントライン」と、特に敏感な肌のためにできる限り刺激を低減するよう成分や処方、テクスチャーにこだわった「センシティブライン」の2品からなる。

## フェムケアシリーズ

OEM・ODM

センシティブラインは、敏感な肌の負担にならないよう、なめらかな伸びとジェルの適度な厚みで摩擦を低減し、過度な洗浄による乾燥を防ぎながら古い角質などの汚れをやさしく除去してデリケートゾーンを健やかに洗い上げる泡立たないタイプのジェル状洗浄料(ジェルウォッシュ)と、気になるムレや乾燥など

の不快感を即座にケアする「イブライン」の2ラインは、保湿成分のイソプロピルメチルフェノールを配合し、ムレや臭いなどデリケートな悩みの原因に働きかける「デオドラントライン」と、特に敏感な肌のためにできる限り刺激を低減するよう成分や処方、テクスチャーにこだわった「センシティブライン」の2品からなる。

日本製クッションファンデーションでは、有効成分としてナイアシナミドを配合し、シワ改善と美白の高付加価値訴求が可能な「薬用クッションファンデーション」(医薬部外品申請準備中)と、SPF・PAともに最高値(SPF50+・PA++++)を取得した「化粧品グレードクッションファンデーション」は、紫外線吸収剤やシリコンなど不使用の「無添加タイプ」と、トーンアップや化粧もちなどの付加価値をつけた「高機能タイプ」を紹介する。

「2015年から国内工場での製造を開始し、累計出荷数は600万個を超える。現在も研究開発を重ね、処方・製造技術を磨き続けており、進化したクッションファンデーションをアースでは是非体感してもらいたい。ファンデーション以外にも、お直し用クッションやUVクッション、クッションチークなどへのアレンジが可能だ(平地氏)

「当社が独自のルートで取り扱うカナダ産エッセンシャルオイルは、何といってもエッジの効いた独特な香りが特徴的で、森林浴のイメージ付与など製品へのプラスアルファの付加価値を提案できる」(平地氏)

#### 進化した日本製クッションファンデとカナダ産エッセンシャルオイルも注目

「2015年から国内工場での製造を開始し、累計出荷数は600万個を超える。現在も研究開発を重ね、処方・製造技術を磨き続けており、進化したクッションファンデーションをアースでは是非体感してもらいたい。ファンデーション以外にも、お直し用クッションやUVクッション、クッションチークなどへのアレンジが可能だ(平地氏)

皮脂膜へ触れてしまう可能性も想定して粘膜を含む皮膚への使用における安全性を重視し、配合原料の基準を特に厳しく設定しているほか、社内女性スタッフによる継続使用モニターも実施している。ヨ



多彩なアレンジが可能な「クッションファンデーション」

「カナダ産エッセンシャルオイルは、エコサートルオイルは、エコサートル(カナダ)とUSDA Organicの認証を取得し、まるで森林浴をしているようなワッペイ系やハーブ系の爽やかな香りが特徴的な2種の天然精油(フラックススプルス・バルサムポプリ)を提案する。今展示会で、カナダ産エッセンシャルオイルを配合したOEM/ODMのサンプルとして、浸透型ヒアルロン酸や沖繩・宮古島産アロエベラエキス、カシミア由来セラチンなども配合し、乾燥などの外的刺激にさらされた手肌と爪を健やかに整える「ハンズ」を提案する。

# フェムケア分野への製剤提案を強化 製剤化技術で新たな乳化技術も確立

化粧品ODM/OEMの国内大手である東洋ビューティ(本社大阪)は、「第12回化粧品産業技術展」にて、「フェムケア分野に向けた製剤提案」「独自原料」(ビタミンC誘導体Funcos C-1)の活用技術「グローバル市場に向けた製剤提案」の3つをテーマに化粧品製剤を紹介する。研究開発・技術開発力とともに、グローバル市場に向けた製剤提案の3つをテーマに化粧品製剤を紹介する。研究開発・技術開発力とともに、グローバル市場に向けた製剤提案の3つをテーマに化粧品製剤を紹介する。研究開発・技術開発力とともに、グローバル市場に向けた製剤提案の3つをテーマに化粧品製剤を紹介する。

## フェムケア研究をさらに深化 製剤のラインナップも充実

同社は、国内2研究所・4工場体制で、企画・処方開発から製造までの一貫生産により高品質な製品の供給を実現する。近年は、女性の美と健康をサポートする企業として、フェムケア分野の研究にも力を入れており、製剤開発が進む。



衣笠氏



中村氏

これまでの研究成果として、フェムケア分野の研究にも力を入れており、製剤開発が進む。

## ビタミンC誘導体活用技術で 独自性、市場での差別化を重視

展示ブリスでは、独自原料の両親媒性ビタミンC誘導体「Funcos C-1」の活用技術も紹介する。近年、ビタミンC配合化粧品需要拡大で市場競争が激しくなっていることから原点回帰で、「Funcos C-1」の機能を直視し、消費者に注目されたいという思いで、独自の製剤提案を紹介する。

「Funcos C-1」独自の特徴をまだ十分に伝えきれていないと考える、「Funcos C-1」のポテンシャルを最大限活かすことを目指して処方設計を進めた(衣笠氏)。

「Funcos C-1」のポテンシャルを最大限活かすことを目指して処方設計を進めた(衣笠氏)。

また消費者の思いに添えるフェミニンゾーンケア製剤の開発も進めている。評価面では、臍粘膜上皮モデルを用いた安全性評価の試験方法を確立した。現在はリアブオン(洗い流さない)製剤を中心にさまざまな剤型のラインナップを拡充している。



一面もある。

同社は「Funcos

C-1」独自の特徴を

まだ十分に伝えきれて

いないと考える、「Func

os C-1」のポテ

ンシャルを最大限活か

すことを目指して処方

設計を進めた(衣笠氏)。

今回、「Funcos

C-1」製剤の高付加

価値を推進するととも

に、バリエーション拡

充した各種製剤を展

示する。今後製剤設計

力や基礎研究の強化

に注いで、「Funcos

C-1」をキー成分にし

た製剤バリエーション

を増やし、独自のビ

# CITE JAPAN 2025 特集

# CITE JAPAN 2025 特集

## アンズコーポレーション

ブースNo.B9-01

### 「ブランド開発の一貫性」を重視した ODM、価値共創型で独自性を発揮

高機能スキンケアのODM事業を展開するアンズコーポレーションは、「ブランド開発における一貫性」をテーマに「CITE JAPAN 2025」に出展する。トレンドの移り変わりが速まる時代性の中、同社は「長く愛用されるブランドづくり」を重視した開発に力を注ぐ。ブースでは一貫性の重要な要素として、独自の3D皮膚モデルなどを使った「エビデンス開発」、自社ブランド展開のノウハウを活かした「コンセプト開発」と「情報開発」の3つを掲げ、推進するLTV型のODMモデルを紹介していく。また、3つの開発要素に一貫性を持たせる自社の処方開発・生産技術を紹介する「ポテンシャル」ゾーンも設ける。

#### 自社ブランドの開発ノウハウも活用し「コンセプト開発」を支援

「コンセプト開発」は、自社ブランド、共同開発ブランドを体験できるコーナーを設け、コンセプトの立案やブランドストーリーの構築から一貫性を高めることを紹介する。また、ブース内には、ブランド開発の3要素の一貫性を高める自社の処方開発・生産能力を紹介する「ポテンシャル」ゾーンも設ける。

#### 検証と探索のエビデンスに独自性 情報開発にも活かし一貫性を向上

「エビデンス開発」は、独自の3D皮膚モデルを使った評価試験や60種類以上のヒトによる評価試験など、自社保有の試験法を用いて、「検証」と「探索」の2種類のエビデンスで独自性を見出し、商品開発のスピードアップも図れるが、一貫性を取り組む企業は多くは「エビデンス」にこだわり、より高品質を目指して検証を続ける傾向にある(同社)。

「エビデンスに対する検証欲や探索欲こそ、モノづくりの醍醐味であり、当社と一緒に取り組むことで可能な価値づくり」という。市場競争が激し



ブースはニューヨークの「タイムズスクエア」をイメージ

独自原料の開発案件で、これまで捨てられていた廃棄素材に美容成分として価値を見出したといったアップサイクルな取り組みの相談・依頼が増えている。エビデンス開発で肌への有効性を見出し、環境配慮と美肌効果を両立した、オリジナルのアップサイクル原料として化粧品に配合することで、原料開発ストーリーがコンセプト開発を補強し、情報開発にも有効に作用する。

原料開発ストーリーを情報開発に活かすことで、美容部員やインフルエンサーといった販売者が商品への愛着を深め、自信をもって推奨できるようになる。「情報開発」ゾーンでは情報開発の事例も紹介する。

「情報開発も、コンセプト開発やエビデンス開発と同様に、開発初期の段階から取り組むことの重要性を伝えていきたい」と(同社)。

また、ブース内には、ブランド開発の3要素の一貫性を高める自社の処方開発・生産能力を紹介する「ポテンシャル」ゾーンも設ける。「ブース内で4つのゾーンを体験していただくことで、「一貫性のあるブランド」への共感と、「一貫性のあるブランド開発」を実現するODMメーカーとしての信頼を高めていきたい」と(同社)。

「エビデンスに対する検証欲や探索欲こそ、モノづくりの醍醐味であり、当社と一緒に取り組むことで可能な価値づくり」という。市場競争が激し



NISSHA

ブースNo.B19-22

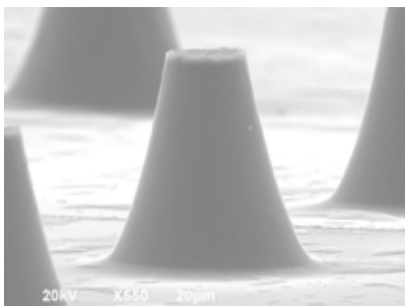
# 独自設計のマイクロニードルパッチ 睡眠の質改善の香り付きも新定番へ

NISSHA(本社=東京都)は、「CITE JAPAN 2025」に出展し、溶解性マイクロニードルパッチの化粧品への応用技術を紹介・紹介する。また、最新の研究成果も報告する。就寝中の溶解性マイクロニードルパッチの使用により「角層への浸透性」や「シワ・シミの改善」に関する新データを取得したという。ブース内では「睡眠の質」に着目した香り付きタイプ「香るマイクロニードル」のコーナーも設ける。香り付きタイプは、就寝美容にアプローチするマイクロニードルとして紹介を進めていく。

## DDSで美容成分の効果最大化 海外も見据え、環境配慮型に

NISSHAは、化粧品が皮膚内で溶解すること品用DDS(ドラッグデリバリーシステム)として注目を集める溶解性マイクロニードルパッチの開発から製造までの一貫生産体制を整え、好みの美容成分を配合するマイクロニードルOEM事業を展開している。

特に、針形状と製法に大きな特徴がある。針形は、特許第6002375号(特許第6002375号)は、円錐台形で先端が尖った形状で、独自の製法により成型する針のパフォーマンスを最も引き出すことができる。先端をフラットにすることで折れにくく、触れる面積を広くすることで角



フラットな先端の針形状が特徴

層への負担を軽減することで商標登録を行っている。とを確認している。針は、土台部分にはヒアルロン酸を越えない設計で、肌へのやさしさを考えた形状であることを意味する「Soft tip」として貼ってから5〜6時間

## 香りタイプでエビデンス取得 「就寝美容」の提案に具体性

同社は、マイクロニードルの新製品として、就寝美容を促す「香るマイクロニードルパッチ」を開発し、今年より本格的に紹介をはじめた。近年、「睡眠の質」に着目したスリープテック・睡眠サポート市場が活況で、化粧品業界においても注目を集めている。

睡眠中は細胞の再生と修復が最も効果的に行われる時間帯で、特に深いノンレム睡眠に入ると成長ホルモンやメラトニンの分泌量が増加し、肌のターンオーバーを助ける「ゼフィウム」「ローズマ

で角層内に溶解する設計になっている。土台部分がパック機能を持ち、美容成分を皮膚内へ長時間閉じ込め、その効果を引き出す。



貼り心地のよさを追求した粘着シート素材

マイクロニードルパッチは、寝ている間に角層内へ美容効果を届けるという効率性や合理性が支持され、今までにない、スキんケアの新たなカテゴリとして世界的に注目が集まっている。マイクロニードルの市場性について、同社は「日本国内だけでなく、海外からの問い合わせも増えている」と語る。グローバル対応

「これまでは『就寝美容』のコンセプト提案の域を出ていなかったが、香りによる睡眠の質を改善するエビデンスが取れたことで、美容効果に加え、睡眠の質の改善にもアプローチするマイクロニードルパッチとして化粧品開発におけるコンセプト

「これまでは『就寝美容』の強みを活かした提案をサポートを行っていた。医薬品分野で錠剤・タブレットやフィルム製剤などを開発・製造するNISSHAゾンベード製薬(本社=東京)を通じて、サプリメントなどの開発技術力なども紹介していく予定だ。

CITE JAPAN 2025 特集

# C-ITE JAPAN 2025 特集

## ケイズ

ブリス No. A7-10

### 化粧品容器の「コンシエルジュ」として 顧客に寄り添う製品づくりをアピール

化粧品容器の卸販売や化粧品・医薬部外品の研究開発と受託製造を手掛けるケイズ(本社：石川県金沢市)は、「共に創る」Meet the concierge」をコンセプトに掲げ、「フレグランス」「容器」「スキンケア」の3つのテーマのもと、企画から中身の製造、容器まで一貫した製造体制をアピールしていく。出展ブリスの主な見どころについて、角嶋社長に話を伺った。

#### テーマ別に様々な製品を展示 容器と中身をトータルで提案

——3つのテーマについて幅広く対応している、それぞれの見どころをお聞かせください。  
角嶋 当社では、容器とスキンケアのOEM処方方に長年取り組んでいる。今回、新たな定番製品として「フレグランス」を紹介する。

2019年に本社工場の隣にフレグランス専用の製造工場を竣工して以降、幅広い香りのバリエーションに対応して実績を積み重ねてきた。剤型もスプレータイプ、ロールオンタイプ、固形タイプの製品もロングセラー

2019年に本社工場の隣にフレグランス専用の製造工場を竣工して以降、幅広い香りのバリエーションに対応して実績を積み重ねてきた。剤型もスプレータイプ、ロールオンタイプ、固形タイプの製品もロングセラー

当社では、医薬部外品の承認を取得した独自処方スキンケア製品も展開している。お客様からのご要望を反映するにあたり、医薬部外品から化粧品にカテゴリーを変更して製品化した例もある。これらについてもブリス内で紹介し、「お客様に寄り添ったものづくり」の姿勢をしっかりと伝えていきたい。

「容器」では、創業以来培ってきたノウハウとルートを活用し、定番トレンドを押さえた、商品を引き立てる容器を展示する。特にフレグランス

「容器」では、創業以来培ってきたノウハウとルートを活用し、定番トレンドを押さえた、商品を引き立てる容器を展示する。特にフレグランス

#### ブリスの設計・デザインは フレグランスの認知向上を意識

——ブリス設計における、お彩のぼかしのようなテクニカをプリントしたオガンジ布を設置することで、「香り」が漂うイメージを表現した。香水・ルームフレグランスを中心とした、様々なフレグランス製品の香りをその場で確認できるテスターも設けている。

ブリスデザイン全体としては「お客様に寄り添ったものづくり」を意識して話を伺い、最適な提案ができるように努めていく。

ブリスデザイン全体としては「お客様に寄り添ったものづくり」を意識して話を伺い、最適な提案ができるように努めていく。

ブリスデザイン全体としては「お客様に寄り添ったものづくり」を意識して話を伺い、最適な提案ができるように努めていく。

ブリスデザイン全体としては「お客様に寄り添ったものづくり」を意識して話を伺い、最適な提案ができるように努めていく。



おお客様のニーズに合った最適な化粧品の中身と容器の組み合わせを提案することが出来る「トータルコスメティックコンシエルジュ」として、ブリス全体でオールインワン提案をアピールしていく。

器と中身が一体となったオールインワン提案にある。スキンケア処方や容器もブリス内でしっかりと紹介することで、様々な製品をオールインワンで行うことのできる、対応力の高さをアピールしていく。

当社では化粧品づくりの「コンシエルジュ」として、お客様の要望を叶える製品づくりに取り組んでおりました。お客様が化粧品を作りたいと思っただけに気軽にご相談いただけるような存在になることを目指すべく、C-ITE JAPANでも

をしているため、容器の製造について自社でコントロールできる体制が整っている。OEM部門も、研究開発から製造まで自社で取り組んでいることから、容器と中身それぞれのスペシャリストが揃っている。



角嶋社長

処方や最近話題となっている処方とセットで紹介するほか、最新の充填技術を融合した製品も展示する。



香水



生せっけん

最大の特徴は容

池田物産

ブースNo.D12-11

# 自社で取得した溶解性・相溶性データも盛り込んだ多彩な機能性原料を紹介

1927年の創業で化粧品・食品の原料や香料、美容健康食品の輸出入事業を展開する池田物産では、化粧品産業技術展(C-ITE JAPAN)に2003年の第1回から出展を続けている。12回目となる今回は、サステナブルやアップサイクルなどの最新トレンドにフォーカスした多彩な機能性原料の基礎データを紹介するだけでなく、同社のR&Dセンターで長年にわたって蓄積してきた溶解性・相溶性データをはじめ、原料の使い方から活用方法など精度の高い付加価値情報も盛り込んだ展示を行う。出展の狙いと今展示会の主な見どころについて、池田隆彦社長に話を伺った。

## サステナブルやアップサイクル、アイケア訴求の新原料を提案

「まずは、出展の狙いをお聞かせください。池田 第1回に出展した頃とトレンドが大きく変化しており、昨今では持続可能な社会の実現に向けて環境負荷の少ない化粧品原料へのニーズが高まっている。」

「池田 第1回に出展した頃とトレンドが大きく変化しており、昨今では持続可能な社会の実現に向けて環境負荷の少ない化粧品原料へのニーズが高まっている。」

「池田 第1回に出展した頃とトレンドが大きく変化しており、昨今では持続可能な社会の実現に向けて環境負荷の少ない化粧品原料へのニーズが高まっている。」



池田社長

「池田 第1回に出展した頃とトレンドが大きく変化しており、昨今では持続可能な社会の実現に向けて環境負荷の少ない化粧品原料へのニーズが高まっている。」

# C-ITE JAPAN 2025 特集

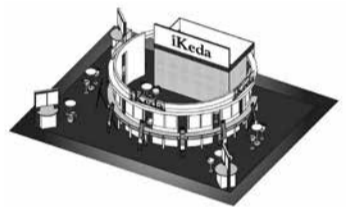
## 出展者技術発表会で講演を行う5つの輸入原料が主な見どころ

「このような原料が見どころになりますか。池田 今回は、出展者技術発表会でそれぞれ講演を行う5つの輸入原料を中心に紹介する。」

「池田 今回は、出展者技術発表会でそれぞれ講演を行う5つの輸入原料を中心に紹介する。」

「池田 今回は、出展者技術発表会でそれぞれ講演を行う5つの輸入原料を中心に紹介する。」

「池田 今回は、出展者技術発表会でそれぞれ講演を行う5つの輸入原料を中心に紹介する。」



ブースイメージ



原料のサンプルイメージ

「超臨界CO<sub>2</sub>を用いて抽出した100%天然由来の油性成分「アイゲロリアス」(ガテフォックセ社)だ。組織に埋め込まれた小さな血管を通る血流である「微小循環」に着目して開発された目もとケアの原料で、毛細血管の構造を強化して白血球や赤血球、血漿の血管外遊走を抑制することで微小循環を回復し、クマやアイバックを改善する。」

「3つめは、石油由来のワセリンに代わる新しい選択肢として、植物由来エステル複合材からなる100%天然由来のエモリエント剤「ポタニデザイン」(カーギル社)を提案する。ポタニデザインは、ワセリンと同等の閉塞性や皮膚バリア保護の特性をもち、高保湿・高密着のリッチな使い心地を付与する。生分解性に優れ、溶剤を使用しないソルベントフリーの環境に配慮した高機能かつサステナブルな原料だ。」

「4つめは、オランダビーム「ment Oil」を抽出した高純度のバクテオールを含むエキスで、シワ改善や肌のハリ向上が期待できるレチノール代替成分「シテノールA」(シセオン社)だ。シセオン社の高い精製技術により、レチノールと同等のアンチエイジング効果がありながらも皮膚刺激などの副作用が低く、安全性が高い。さらに、バクテオールとしては初めてNMPAに登録され、中国への輸出が可能なのが他社のバクテオールと比較して大きなアドバンテージとなっており、引き合いが高まっている。」

「5つめは、天然油脂を微生物の代謝プロセスによって発酵油脂へと変換する独自技術を有するゾエバリオ社が開発した、従来の油脂系原料にはない保水性や特有のテクスチャーを持つ機能性原料「BIOLIPID」シリーズと、植物由来の発酵オイル色素「Uferment Oil」をブースで紹介する。」